



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

W E E K L Y R E P O R T

設立 昭和63年(1988)5月23日
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階
TEL. (06) 6244-1008 FAX. (06) 6244-1010
WEB. http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp
例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel. (06) 6244-1111
会長 宮原 彰 幹事 岩崎 寿英 会報広報委員長 中西 弘明

四つのテスト／言行はこれに照してから Ⅰ. 真実かどうか Ⅱ. みんなに公平か Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1437回 例会 2021年 (令和3年) 12月6日

(疾病予防と治療月間)

本日のプログラム ○ ロ-タリ-ソング 「君が代」「四つのテスト」 ○ 12月お誕生月会員お祝い ○ 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告 ○ 卓 話 「会社紹介 ～人間力とIT技術で未来を目指す～」 洪 理恵 会員 ○ 理事会 31階「カトレア」 13:40～14:40	(本日のプログレス 原山 歩 副SAA)
---	----------------------

前回 (11月29日) 例会記録

◇プログレス 中井 崇 副SAA

1. 来客紹介 ゲスト:1名 地区外:0名 地区内:1名 合計:2名

ゲスト:地区ロータリー財団委員会 資金管理小委員会 相馬 康人様

```

< ~~~~~ >
^ 冬げしき
^
^ 冬の星座
^
^ 冬の夜
^
^ ~~~~~ >

```

2. 会長の時間 宮原 彰 会長



皆さんこんにちは、早いもので、あさってからは師走に入ります。コロナの一年で大きなお祭りや、地域のお祭り、年間の行事やイベントなども中止されましたので、それらで季節感を感じる事がなかったかもしれませんが、このところの紅葉や、寒い朝ですと、もうこんな季節になってたんやと思いました。

皆さんお近くの紅葉は如何だったでしょうか。まだ1週間や10日は大丈夫です。紅葉が散ってからも綺麗です。是非ご覧になってください。

ともかくも、この1年クラブの例会がコロナで中止になったこともありましたが、こうして皆さんと一緒に例会が出来ることを有り難いことです。

師走に入りますと8日が事治めの日となっていて、一年の始末をする日、そして13日が事始めで、新年の準備を始める日となっています。事治めの治めるという字は水で台所を流し、事始めの始めるは女が台所に立つ日、漢字の面白いところです。

因みに芸事の世界ではお師匠さんや先生にご挨拶に行ったりするんですが、京都の祇園や先斗町などの花街では事始めを、師走の大きな行事として行われていますし、新聞やテレビのニュースでおなじみだと思います。

お正月の準備と言っても掃除洗濯とも毎日の行事で改まってすることもないし、食べるものにしても、お正月でもコンビニが空いているので、わざわざ、冷たいおせち料理が無くて大丈夫と考える、ご家庭が多くなってきていると言われますが、一応お祝いの行事だからお祝いの印としてお節はあったに超したことはない、手間暇かけて造ることもないので適当なのがあれば、買いましょよと言って、おせち料理の案内が、思えば9月ごろから、新聞やチラシで随分目につきました。

三段重ねで3万から5万円ぐらいが多いように感じました。目についた、デパートが出しているおせち料理のパフレットはまるで本の様な厚みがあって、あるは、ある、大阪京都などの有名な料亭から、専門店のお節料理が山ほどきれいな写真で出ておまして、10万を超えるのも珍しくなく一番高いと思ったのが京都の料亭で26万3000円とありびっくり致しました。格差社会と言ったりしますが、お節の世界でもそうなっているのかと思いましたが、私らの世代ですと、おせちを造る光景が年末の家庭の常識だったように思いますが、古いでしょうか。

年末の準備と言えば年賀ハガキがありますが、昨年あたりからもらった年賀状はがきの隅っこに、今年で年賀状での挨拶は最後とさせて頂きます、と書いたのが目に付くようになってきました。

皆さんも年始の挨拶のことはハガキをどうするか、考えておられることと思いますが、時代の流れから行くと年賀ハガキは年々少なくなって行きそうですが、今後年賀状をどうするか、ハガキがある、手書きで書くことを楽しいことだと思えるようになるか、コミュニケーションの手段として年賀状の使い道、どんなことが出来るのか。

年賀状を厄介なこととしてではなく、師走の楽しい仕事に出来るかどうか、私もこの際考えてみたいと思っていますところ。ともかくも、一年の締めくくりの師走を元気で行きましょう。よろしく願いいたします。

3. 委員会報告

◎ 会員増強委員会 岡野 秀章 委員

来週12月6日から新入会員の篠藤敦子(しのとうあつこ)さんが例会に出席されます。

皆さん温かくお迎えしましょう！

◎ 親睦委員会 岡本 真太郎 委員長

11月24日(水)の親睦ゴルフコンペにご参加いただきました皆様お疲れ様でした。

天候にも恵まれ、大変楽しい時間を過ごさせて頂けたことに感謝申し上げます。

詳細につきまして11月29日付の週報に甚田会員の優勝の弁として掲載させて頂きましたのでご覧ください。

12月13日(月)は例年のクリスマス懇親会に代わりまして、会員のみ懇親会を開催致します。

例会・総会終了後18:00より32階スカイテラスにて開催となりますのでご参集くださいますようお願い致します。

1月11日(火)の新年例会後は18:00より懇親会を開催致します。

会場はセントレジスホテルになりますのでお間違いのなきようお願い致します。

そして1月24日(月)は新入会員歓迎会を開催致します。

場所は藤井会員のホテルサンホワイト2階蘭花の間で、時間は18:30からになります。

年末年始で何かとお忙しい時期ではありますが、是非皆様のご参加を心よりお待ちしております。

◎ 社会奉仕委員会 中嶋 啓至 委員長

地区より、国連支援募金運動として、薬物乱用防止対策事業の協力依頼がありました。

募金箱は12月末までニコニコ箱と一緒に受付に置かせていただきます。ご協力の程よろしく申し上げます。

◎ 地区社会奉仕委員会 澤田 宗久委員

11月25日(木)に第4回地区社会奉仕委員会が地区事務所でズーム参加も兼ねて行われました。

昨年度の会議は1時間でしたが、今年度からは、1時間30分に延長されたので、今年度の活動と次年度の活動方針など多くの議題を討議することができました。

地区の情報としては、次年度宮里ガバナーエレクトの方針として、地区社会奉仕委員会と国際奉仕委員会が一つに統合された組織になり、予算も決定されたようです。

その後、場所を梅田に変えて、長年お世話になった地区事務局の栗正さんの送別会を兼ねて親睦会が開かれました。皆様久しぶりの会食だったので話が弾みました。

所属している各クラブの情報交換も行い、有意義なひと時を過ごすことが出来ました。

ロータリーの良い所は、会議の後は皆様ノーサイドになり、楽しく語り合い親睦と友好を深める事であります。

4. 米山功労者表彰

米山特別寄付に対し、次の方々が表彰され宮原会長より感謝状が贈られました。



【第2回米山功労者】 栗原 裕 会員 中村 一 会員

【第1回米山功労者】 岩崎 寿英 会員

5. ニコニコ報告 天野 大樹 親睦委員

地区R財団委員長 相馬康人様・・・本日卓話させていただきます。よろしく願い申し上げます。

北野 会員・・・相馬様、本日はよろしく願いします。

岡本(真) 会員・・・先日のゴルフコンペお疲れ様でした。初めての幹事でしたが皆様のお力添えもあり、ケガもなく無事終わることが出来ました。ありがとうございました。

新川、天野、中井、坂本、原山、小島、竹内、俣野、小山、岩崎、中西、宮原、山川、岡本(茂)、片岡、岡野、沖、井澤、中嶋、林、野田、洪、中村、吉本、大嶋、伊藤、大磯、澤田、

各会員・・・横綱照ノ富士 全勝優勝おめでとうございます

6. 出席報告 中井 崇 副SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 38名 出席会員数 33名 出席率 87%

第1434回(11月1日) 修正出席率 97%

7. 委員会卓話 「ロータリー財団補助金のシステム」

地区財団委員会 資金管理小委員会 委員長 相馬 康人 様

【ロータリー財団委員会 北野 克己委員長のご紹介】



まず最初にご寄付・補助金活用において、財団ならびに地区財団委員会への多大なご理解とご協力、感謝申し上げます。

財団補助金のシステムについてお話するにあたり、整理しておきたいのは、奉仕事業を行う主体はあくまでロータリーであり、財団はそれを資金面でサポートする別組織、という点です。ロータリー財団は法人格を持ち、ロータリーと異なる組織です。

その役割は税金にも似て、集金力を背景にした大型事業遂行・クラブ間での再分配の機能を持っています。

年次基金・恒久基金をはじめとする各種寄付によって集められた資金は、地区財団活動基金(DDF)や、国際財団活動基金(WF)に振り分けられ、さらに地区補助金(DG)・グローバル補助金(GG)、ポリオプラスに拠出されます。

なおこの他に、ポリオプラス・冠名指定寄付・災害救援基金といった、使途が指定された寄付の窓口も存在します。

DGは地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援するものです。

審査は地区が行います。DGの具体的な活用事例としては、野球の指導を通じて現地に規律の浸透を図る大阪北RCの「第2次タンザニア野球オリンピックチャレンジ支援」、対立する2民族の相互理解を促進する大阪御堂筋本町RCの「スリランカ アニメDVD制作・配布」などが挙げられます。

一方、GGは7つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援するものです。こちらは財団が審査します。

GG活用の一つ、グローバル奨学金は重点分野に関わる日本人留学希望者に勉学に集中させるべく最大10万ドルと手厚い支援を行うのが特徴です。日本との絆を築くため多数の外国人留学生を支援する米山奨学金に対し、人数は年1~2人と少ないものの、ハーグの国際機関日本代表を輩出するなど未来のリーダー育成に役立てられています。

財団のルールは多岐にわたり、一見ややこしく見えますが、その補助方針は比較的シンプルなものです。

まず、足りないものを与えるのではなく、それを手に入れる方法を与える事で「持続的効果を有すること」。

そのために運用・補修する技術やルートも併せて提供することが求められ、「物品贈呈のみの事業は対象外」となります。

そして、特定の受益者・団体・地域に対する「継続的支援の禁止」。自立を促すという方向性と、少しでも多くの人を救済すべきとの目標に基づいています。

最後に財団の収支状況ですが、ここ数年GGの伸びは顕著で寄付の増加が追いつかず余裕が無くなりつつあるのが現状です。さらに新型コロナによる投資収益の悪化が追い打ちをかけ、2019-20年度は収支がマイナスとなった上にWFが枯渇しました。厳しい経済状況ですが、今年の年次基金寄付は3年後の事業原資となります。

コロナ後のさあこれからという時のため、皆様におかれましては例年、願わくば例年以上のご寄付・ご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

☆次回12月13日(月)例会予定

・例会・年次総会 31階「カトレア」 17:00~17:45

・会員懇親会 32階「スカイテラス」18:00~20:00